

第5回 杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会会議録(要旨)

会議名	第5回杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会
日時	平成27年12月22日(火) 午後2時30分～午後4時30分
場所	杉並区役所 中棟5階 第3・4委員会室
出席者	懇談会委員17名、事務局及び関係職員9名
傍聴者	6名
次第	1 開会 2 第4回懇談会における配置計画(案)にかかる主な意見について 3 配置計画(案)(ゾーニングイメージ含む)について 4 杉並第一小学校等複合施設整備に係る検討経過(中間のまとめ)について 5 事務局からの連絡事項 6 閉会
資料	資料1 第4回懇談会における配置計画(案)にかかる主な意見について 資料2 配置計画(案)(ゾーニングイメージ含む)について 資料3 配置計画(案)比較検討表 資料4 杉並第一小学校等複合施設整備に係る検討経過(中間のまとめ)について 参考資料1 日影図

進行役	<p>本日は年末のお忙しい中、「第5回杉並区立杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日も、2時間弱くらいを目安に、進行できればと思いますので、ご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、配布資料の確認を事務局からお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>それでは、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <p>(配布資料の確認)</p>
進行役	<p>次第に入る前に、本日欠席の委員よりご意見が来ていますので、事務局よりお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>本日、ご欠席ということで懇談会の検討について4点ご意見をいただきましたので、ご紹介させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 土地の形状を長方形にすること</li> <li>2. 校庭を出来るだけ大きくとること</li> <li>3. 体育館とプールは建物の中に収納する。そして、一般に公開すること</li> <li>4. 地下建築で建築費が高くなるのが問題ならばオリンピックによる影響も同様なので計画全体を先おくりすること</li> </ol>
進行役	<p>それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>次第2「第4回懇談会における配置計画(案)にかかる主な意見について」ということで、事務局からご説明をお願いいたします。</p>

<p>学校整備課長</p>	<p>前回の懇談会では、配置計画（案）、ゾーニングイメージも含め、3案を示させていただき、プールの配置、校庭の配置を中心に施設のゾーニングについて、様々な角度から委員の皆さまより、ご意見を頂戴いたしました。</p> <p>前回の振り返りということで、「資料1」として主な意見として整理いたしましたのでご覧いただければと思います。</p> <p>（資料中の主だった意見を紹介）</p>
<p>学校整備担当部長</p>	<p>前回の懇談会でご意見をいただき、持ち帰って検討した件についてご報告します。プールを温水にして区民開放できるようにするべきでは、というご意見や、教育的観点から教育委員会として明確なメリットとデメリットを検討して見解をはっきりするべきというご意見がありました。持ち帰って内部で検討して、4点ほど整理しました。</p> <p>基本的には、今回のプールの温水化のご意見については屋内に設置しないものとして進めます。その理由として4点あります。</p> <p>1点目として、プールについては文部科学省の指針に基づいて整備します。屋外・屋内とも文部科学省の指針に留意してつくりますので、教育的な優劣がどちらにあるかということは一概には言えません。ただ、今、「ヤゴ救出大作戦」等、事前授業や飼育観察、環境学習で使われている部分もありますので、そういう点も教育委員会としては大切にしていきたいです。また、児童が天空の中で風や気候、陽射しを感じるということも重要だと思っておりますので、教育上は区としては天空のほうが良いと考えています。</p> <p>2点目は、杉並第一小学校の改築は阿佐谷地域区民センターと産業商工会館との複合化です。スポーツ施設としてのプールの設置につきましては、杉並区の行政計画に位置付けられてはいませんので、この懇談会の中では温水プールの設置については、行政計画上は難しいと考えています。</p> <p>3点目は、屋内温水プールは、学校の屋外プールと比べてプール自体が大きくなること、さらに機械室や更衣室、受付、職員の待機室、ろ過機等の機械室、その分が増えますので、建設費で約4億円、ラーニングコストとして、温水にしたり、掃除をしたり、人を張り付けて管理をしたりする中で、毎年約1億円の支出になります。経済的な負担が大きいというのが3点目です。</p> <p>4点目は、スポーツ施設とする場合、先ほど述べましたように面積が増えます。そうすると、今の杉並第一小学校の教育環境を崩さずに温水プールを造ろうとすると、もう一層地下を深くしないと、レイアウトが組みあがりません。そうすると工期が3年を超えてしまいます。また、杉並第一小学校の教育環境に配慮する計画が難しくなってきます。できましたら、今の計画のまま進めさせていただきたい、というのが区の見解です。</p>
<p>教育施設計画推進担当係長</p>	<p>引き続きまして、普通教室数の計画についてご意見をいただきました。校舎が新しくなると児童数が増加することが想定されるので、現段階の普通教室は14教室で少人数教室3教室と生活科室1教室の転用可能な教室を含めて18学級という計画に対してご要望がありました。普通教室のほうは、少人数教室等を潰すことのないよう18教室で考えていただけないかという意見がございま</p>

	<p>した。「資料4」の7ページをご覧ください。こちらは、建設する新校舎の規模、教室数等を計画するにあたっての推計値が載っています。</p> <p>（「資料4」の7ページに基づき、杉並第一小学校児童数・学級数の推計（平成27年11月）を説明）</p> <p>現在、桃井第二小学校も平成31年4月の開校に向けて、今年度、基本設計をしています。桃井第二小学校の開校時の推計は18学級です。その18学級に余力を見て、プラス2教室で普通教室を20教室用意します。そして、転用可能な少人数教室3教室と生活科室1教室という同様の考えで進めていますので、普通教室数は今の計画で進めさせていただきたいと思います。</p>
進行役	<p>ただいま、事務局から前回の懇談会における配置計画（案）にかかる主な意見の振り返り、プールの配置について、普通教室数の計画の考え方について、ご説明がありました。ご質問・ご意見がございましたらお願いいたします。</p>
委員	<p>基本18教室にして欲しいと言っていますが、天沼小学校が15教室でつくって、現在で17教室、さらに4月までに2教室増えるように工事をしているようで、図書室までなくなってしまう状態になっているそうです。おそらく、杉並第一小学校は駅前という立地や教育の内容からして必ずこの少人数教室と生活科室を含めた18教室があつという間になくなってどこかをさらに増やしていくことになっていくと思いますので、やはり基本18教室で考えていただけたらと思います。</p> <p>ここに提示されている数字はデータなのでしょうが、この施設構成及び規模というのは新築になった場合の数値ではないですね。改築になったら、学区内に通えるように引っ越し人がたくさんいると思います。私がニューヨークに4年住んでいて、その時にリーマンショックがありました。全米の地価が落ちて、マンハッタンですら地価がかなり落ちました。その中でも良い公立学校があるところは地価が下がらず、逆に上がったところがありました。アメリカは私立学校の学費がとても高いので、私立学校には通わせられないがせめて良い公立学校に通わせようと引っ越し親が殺到しました。</p> <p>杉並第一小学校も、そういうことがあると思いますし、杉並第一小学校の周辺の大きなお屋敷も代替わりが進み、土地を手放すことがあれば不動産屋の買い取りも熾烈になるだろうし、そうすればマンションを建てる動きもあると思います。天沼小学校がちょうど5年で200人増えて、今後6年で200人増えて6年後には児童数が750人になるといわれているので、杉並第一小学校にも同じ動きがあると思うので、やはり普通教室は18教室を確保していただけたらと思います。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>天沼小学校の教室数につきましては、統合校ではありますが、どんどん増えている状況です。杉並第一小学校の学区の面積はそんなに広くなく、また前回もお話しましたが広い社寺地があり、河北総合病院もあり、また商業地域ということもあり商業ビルも駅前にあります。たしかに大型の開発があり、子育て世帯が住めるマンションができると、一時的には児童数が急増するということも考えられます。ただし、桃井第二小学校も含めて並行する計画と同じ考え</p>

	<p>で進めているところなので、先を見通すのは難しいところではありますが、転用可能な教室はできるだけ使わないというのは大変重要なことだとは思っていますが、万が一増えた場合にも対応できる施設設備を持っているということが重要だと考えていますので、この計画でご理解いただきたいと事務局では考えています。</p>
学校整備担当部長	<p>捕捉します。貴重なご意見だと思います。今、桃井第二小学校とともに計画を進めていますが、委員がおっしゃるようにどのくらいキャパシティをもたせるかという考え方だと思います。それについては、普通教室プラス少人数教室等の将来なんらかいじれるスペースが部屋としてなくても、将来、廊下やフリースペースを改修すれば教室として活用できるということもありえます。今後、設計していく中で、児童が増えることを予想して、教室だけ過大にあって使わない部屋がたくさんあるということも非効率ですし、将来足りなくなっても非効率だと思います。そこの見合いは実施設計の中で私たちも解析してみます。</p> <p>天沼小学校の実例の話もありましたが、実際に天沼小学校がなぜそうなったかをしっかりと分析して、おっしゃる通り区外から引っ越しされてきたのか、本当に開発があってマンションが増えたからだとか、きちっと実状を分析して、今後の普通教室の数を解析していかなければと考えています。大変申し訳ありませんが、今日のところは教室数についてはこのまま進めさせていただいて、意見についてはきちっと受け止めていくということでご理解いただきたいと思っています。</p>
委員	<p>私は今の委員の意見に賛成です。西友だってどうなるか分かりません。ですから、キャパシティは多いに越したことはないと思います。非効率ということでせっかく新しくつくるものを制約するのは、もう少し柔軟性を持ってやっていただきたいと思いますし、他の委員の意見も聞かれた方がよいと思います。</p>
進行役	<p>では、今の話に関連してご意見はありますか。</p> <p>(委員からの意見は特になし)</p> <p>それでは、学校整備担当部長のほうからもありましたが、実施設計の中で勘案していくということによろしいでしょうか。では先に進めさせていただきます。</p> <p>それでは、「3. 配置計画(案)(ゾーニングイメージ含む)について」です。前回懇談会での意見を踏まえて、地上校庭案と屋上校庭案の2案としたうえで、修正案が資料としてご用意されています。</p> <p>支援業務を担当している(株)佐藤総合計画から、修正のポイントなどの説明をお願いいたします。</p>
支援事業者	<p>(「資料2」に基づき、敷地の特性や土地利用のあり方、配置計画案の検討を説明し、また「参考資料1」の日影図に基づき、周辺や校庭への影響を説明)</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>(「資料3」に基づき、配置計画(案)の比較検討の内容を説明)</p>

進行役	<p>前回の地上校庭案 2 案を 1 案にした修正案及び屋上校庭案のゾーニングを見直した案、そして 2 案の比較検討の内容について、ご説明いただきました。</p> <p>検討を重ねて、基本計画の段階で 1 案に絞り込んでいく必要がありますので、本日は、説明内容に対するご質問をまずいただいて、共通の認識を図った上で、その後に全委員から、本日晒されている 2 案に関する意見をお一人ずつ伺ってまいりたいと思います。</p> <p>それでは、ただいまの説明にご意見・ご質問があれば、お願いいたします。</p>
委員	<p>小学校の象徴である立派な桜の木がありますが、それぞれの案の場合にその桜がどのようなところに移植、またはなくなってしまうのかというところを教えてくださいいただければと思います。</p>
教育施設計画 推進担当係長	<p>現在、配置計画（案）の検討をしている中で、樹木のところまで丁寧にできていないところもありますが、学校のほうで大切にされている樹木などもございますし、建物の建て方として、樹木に配慮するというのもこれまでにやっております。ただやはり、場所が建物を建てなくてはいけないといった場合に移植することもあります。今回、両案とも地下を掘るので人工地盤になってしまいうところでは、全面を人口地盤とするのか、一部は脇が土になるのかによって工夫が必要だと思っています。今後、詳細に進めていく中で、敷地内の樹木に関しては打ち合わせをしながら、検討していく方向で考えています。</p>
学校整備担当 部長	<p>杉並区のみどりの条例や東京都の自然保護条例がありますが、まだそこまで詰められていません。今後、設計していく中では、高木・中木・低木で何本で何㎡でやりなさい、といった行政指導が入ってきますので、それについては今後資料を作ってお示しします。</p> <p>それから、現況の樹木の調査は可能な限りしたいと思います。残さなければいけない樹木もあると思いますので、それをどこへ移植できるのか、そしてもう一つは、高木で老木のものは長く持ちませんから、それをどこか他へ移して、新しい木を培養する、引き継ぐという考えもあろうかと思っています。それは新しい技術を参考にして、命を絶やさない、木を継続するという話は考えていきたいと思っています。</p>
委員	<p>今、木の話がでましたが、区役所の青梅街道から中杉通りを通ってくると、自動車で初めて阿佐谷にきた方たちはこのケヤキの木が素晴らしいので、皆さんが褒められるのを私はたくさん聞いています。それから、学校の東側に屋敷林があります。都内で駅の近くにあれだけのケヤキの森があるところは、JR 中央線では阿佐ヶ谷駅だけだったと思います。それから阿佐谷には歴史的なところが多く、小学校から 10 分以内のところに、昔、北原白秋が住んでいたところがあります。また、小説家の田宮虎彦も住んでいましたが、そのご子息は杉並第一小学校の出身で、うちの商店街に同級生もおります。そういう歴史のある阿佐谷、樹木等を考慮して、東側の屋敷林には保存樹木もありますので、それを踏まえて設計をして欲しいと思います。</p>

学校整備担当 部長	屋敷林には貴重木などすごい木が植わっています。所有者とは、緑の保全に関してはまちづくりの中でお会いしてお話しています。学校と中杉通りと北側の社寺地の緑をどう保全していくかということは、みどり公園化を含めて学校の改築と合わせてきちっとやっていきたいと思います。合わせて、先ほど設計事務所から話がありましたが、緑に囲まれた学校です。その計画の中では児童が緑を感じて学べるだとか、緑に普段から接するというのも配置計画や景観形成を考えていきます。
委員	屋上校庭案の場合、体育の専科の教員の居場所は屋上になるのでしょうか。
進行役	いえ、管理室だと思います。指導の際に屋上に移動したり、また休み時間等は、屋上に管理室があればそこを利用するという考え方だと思います。
学校整備担当 部長	そこは学校側の授業の体系と、教育委員で先生方の負担のフォローの仕方をどうするかというソフトの話はこれから進めていきたいと思います。
委員	また、屋上校庭案に関してメリットはたくさんありますが、一番のネックは防災だと思います。ここをどう担保するのがイメージが沸きません。ここでいう空地とは話がついているのだとは思いますが、ここに児童が400名位、特に地元の方も来るというところで、うまく調整をしていただければと思います。ちょうど北側が道路なので、道路を渡って緊急で走っていけるかどうかという話はソフトの問題になるかもしれませんが、2階を通過して向こうに行ければ良いなと思いました。ただ、スペース的に狭いところで厳しそうなので、そこがどういうイメージなのか気になりました。
学校整備担当 部長	区としては、北側の神社の空地面積を計算したところ、現状の校庭よりも木が植わっていない部分の面積でも広く、児童と近隣の皆さまが一時避難するスペースは確保できていると思っています。 前回、校長先生から発災直後に児童を屋上にあげて、また下におろしてどこかに移すというのは、安全上どうかという話がありました。私どもは防災課と打合せをしまして、防災課のほうでもやはり、発災直後は建物が火災ですとか亀裂が入る可能性がないわけではないので、一回外に避難させていただくと、その後、建物に火災や亀裂等が入っていないことを確認して、児童や区民を中に入れるということで、外の空地は必ず確保しなくてはなりません。今おっしゃったように、北側道路は6.5mに拡幅する予定です。2mの歩道状空地もつくる予定です。今はあのような形で狭くて危ないですが、将来改築して道路も拡幅すれば溜まれるスペースを確保した上で横断できるようになりますので、北側の空地に児童も区民の方も避難できる経路ができていくと考えています。
委員	屋上校庭になった場合、屋上の地面の温度や体感温度はどうなるのでしょうか。
学校整備担当 部長	それも前回ご意見があり調べました。地上部分と4階建てで十何メートルあがったところで風速がどれ位、年間を通して変わるかということは、高さが低いのでデータのありませんでした。ただ、阿佐ヶ谷中学校が区役所の前にありますが、4階の上に屋上の生徒の遊び場があります。そこではほとんど影響がないですし、4階の上というのは今の杉並第一小学校の屋上の高さと同様

	ないので、実績は今の屋上と考えていただければ良いと思います。輻射熱ですが、阿佐ヶ谷中学校もそうですが、校舎・校庭の下は区役所の駐車場になっています。コンクリートの床に土を入れていますので、今回の屋上校庭でも、材料をきちっと設定すれば輻射熱の心配はないだろうと思います。
委員	「資料3」を見て、屋上校庭案のメリットが探せないと感じました。
学校整備担当部長	メリットは、校庭の広さが大きくなるということです。
委員	地上校庭案の場合の校舎の屋上の利用計画について全く触れられていない気がします。これはどういうお考えでしょうか。
学校整備担当部長	これは、8階の屋上は設備系でいっぱいになると考えられます。クーリングタワーや受変電設備、防火水槽等もあり、屋上は人があがれるスペースはほとんどないと思います。
学校整備課長	屋上校庭案のもう一つのメリットは日影です。今回お出しした地上校庭案ですと、近隣にかなりの影響を与えます。また、自分の建物の影によって季節によってはグラウンドに影が落ちることがあります。それが屋上校庭になると近隣への影響がかなり抑えられます。メリットとデメリットはありますが、屋上全体が校庭になっているので、自分の建物の影が落ちることはありません。なので、一年中明るいということと言えます。
学校整備担当部長	メリットは、屋上校庭にした場合は一日中校庭が日影にならない、明るい校庭が保てるということです。それがメリットです。校庭が広くなること、影ができないことです。
委員	<p>私は両案とも一長一短あってそれぞれ難しい選択だと思って見ておりました。学校運営協議会委員としては地上校庭案のほうが良いのかなと思いますが、近隣としては低層の屋上校庭案のほうが良いのかなと思います。日影を見るとそんな気がします。いずれにしても一長一短あると思っています。どちらの案にしてもお隣同士ですから、児童が一時避難して、それを断る理由はありませんから喜んでお受けしたいと思うので、その点はご安心していただければと思います。</p> <p>ちなみに、東日本大震災の時に北口の商業ビルのパサージュの人たちが全員うちの境内に逃げてきました。ここは避難場所になっていると、パサージュの人たちの中で勝手に決めていたようでした。たまたま境内の整備について建築の方と応接間で話していたらシャンデリアが揺れたので外に出たら、お祭りが正月かのように人が来ました。小学校だけ受け入れる前に、周辺の方もいらっしやるとしています。ただ私が少し心配しているのは、東側に住宅が密集しているので、そちらで火事が起きると延焼する可能性があるかと思っています。</p>
学校整備課長	今ありがたいお話がありましたが、勝手に使うことはなく、ちゃんと協定を結ばせていただくということを考えてやらせていただく考えです。
委員	私はちょうど今、パサージュの管理組合の理事長をさせていただいております。私も知りませんでしたので、従業員が900人ほどおりまして、その人たちが駆け付けたんだと思います。よくコミュニケーションを取りながら話をした

	<p>いと思います。</p> <p>土地利用についてですが、「資料2」の11ページに中杉通りの「にぎわい創出」と書いてあります。私は戦前生まれですので、中杉通りができる前は強制疎開で防火帯になっていました。若い方はご存じないかもしれませんが、小学校の横に商店がありました。そこは21時頃まで電気がついて明るかったです。広い中杉通りがなかったので、開かずの踏み切りを通過して南から北へ行くと、両方にお店がありました。中杉通りの「にぎわい創出」ということになると、今度は区民施設の入口もできると思いますので、明かり計画と申しますか、夜になると真っ暗になってしまうと人も通りにくくなりますので、照明計画は施設の営業時間が終わっても明かりがついているというかたちにしてもらえたらと思います。</p>
支援事業者	<p>補足します。屋上校庭案の1階のピンク色の部分に、イベントスペースやラウンジ・カフェ等を置いています。比較表の中にも書かせていただいています。この中杉通りに面する幅が、屋上校庭案は非常に大きく取れます。こういった部分が「にぎわい創出」に一役買えるのではないかと考えています。また今お話がありましたように、夜も寂しい通りにならないように、ガラス越しには照明が灯っているということでまちの演出にもなると考えています。</p> <p>今回の施設の一つのシンボルとなるホールが屋上校庭案は1階にあります。そうしますと、ジャズストリートやイベント時には一緒に使えますので、それは大きなメリットだと思います。</p>
委員	<p>駐車場の件です。細かい話ですが、地上校庭案の駐車場の台数を勘定すると43台、屋上校庭案の台数を勘定すると36台です。これはおそらく付置義務台数がその分を占めていると思うのですが、学校も付置義務を要するのでしょうか。その辺の数字を教えてくださいませんか。</p>
支援事業者	<p>今のところ東京都の駐車場条例がありますので確認しますと、学校でも付置義務が発生するというので、今回は商業地域、駐車場整備地域に入っていますので、基本的にはそれを順守するという話がありますので、必要な台数は各案とも41台ということになっています。屋上校庭案も41台取っています。今まで杉並区の学校で付置義務による駐車場を入れたことがないということで、それについては今後検討させていただきたいと考えています。ただ、この区民施設として台数が何台必要かという話は別にありまして、それはまた別途協議させていただき、盛り込んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>地上校庭案のホールを8階に置いています。断面図を見ると通常の階高のようですが、一方で屋上校庭案のホールは1階に入れて、吹き抜けのしっかりとしたホールをつくられています。</p>
支援事業者	<p>部分的に2m位あげようかという見当はしていますが、いずれにしても日影制限でこの高さが決まっていますので、あまり高くすると出てしまうということがありますので、そこの兼ね合いで今、調整しております。</p>
進行役	<p>それでは、全員から意見を伺っていきたくと思います。どちらの案が望ましいと考えるか、また、このように修正を加えるとより良くなるのではないかな</p>



	どもございましたら、お願いいたします。順番に承っていきたくと思います。
委員	私は、校庭は地上にあったほうが良いのではないかと考えています。日本は地震国なので、やはり地続きのところに児童が避難できたほうが安全だと思います。屋上校庭にしても、どれくらい出入口を大きくしてもらえるのか、また児童が溜まれる空間をつくってくださるとおっしゃっていましたが、私は最大で750人程度の児童数になると考えています。11月2日に創立140周年の記念集会で児童が荻窪まで移動しましたが、やはり今の正門・昇降口は狭いので450人程が移動するともものすごく大変でした。450～750人を移動させて近隣の空地に避難するというのは大変なことなので、やはり1階の地上に全員が避難できたほうが良いと思っています。私は地上校庭案を支持します。
委員	私は先ほど申し上げたように、一長一短でどちらとも判断しかねています。先ほど申し上げ損ねましたが、駐輪場は計画には入っていないですが、運動会でも防災訓練でも神社の駐輪場に何十台かは停まっています。学校では禁止しているようで、それに目くじらを立てるといえることはないですが、やはり小さいお子様がいたり荷物を持ったりして何百m移動するのには無理があると感じます。無理なことを禁止するよりは、駐輪場をつくってしまったほうが良いのではないかと考えています。
教育施設計画推進担当係長	駐輪場に関しましても付置義務がありまして、例えば学校の場合は15㎡に1台、地域区民センターの場合は25㎡に1台、等ありますが、学校の場合は面積に応じて付置義務で駐輪台数をたくさん用意しても実際はPTAの方たちの活用になりますので、そこは理由書を出して減らしたりはしますが、実際この計画でも駐輪場のスペースをしっかりと取って用意しますが、台数については今後検討させていただきます。
委員	今は、PTAは自転車では来てはいけないということになっているようですが、それでも自転車で来てしまうということで、今度、複合施設になれば複合施設の分はPTAも使っていいですよとしたほうが良いのではないかと考えています。
委員	どちらの案にもメリットとデメリットはあると思いますが、マイナス面を直していただければどちらでも良いのかなと思います。ただやはり、防災に関しては手を打っていただきたいと思っています。この比較表の中にも自助努力ではできないようになっていると思いますが、避難場所が近隣の空地しかなくなるとなった時に本当に児童の安全が確保できるのかということ、近辺にもう少しスペースがあるのかということも含めてそこだけは担保していただければと思います。複合化という意味でいえば、日影の問題も含めてできた後の使い勝手等、見栄えも含めて低層の方がカッコ良いと思います。みなさん喜んでお使いになると思います。ただ、リスクを伴うこと、人命に関わる問題だけは押さえていただければ問題ないと思います。
委員	私も一長一短だと思い始めてきました。私も地上校庭案に賛成していましたが、いろいろなことを考えると、もちろん今の状況をきちっと担保しなければいけないということは分かっていますが、30年先、50年先の子どもたちはいか

	<p>に学ぶかといった時に、今の私の過去からひきずった概念だけで校舎や学び舎を語って良いのかなと前回から今まで考えていました。どちらかという皆さん概念で話されていることなので、私は30年先、50年先を見届けることはできませんからその時どうなっているかは分かりませんが、どうかチェンジして30年先、50年先の子どもたちの学びというものを少し考えていただきたいと思います。</p> <p>この懇談会が始まる前に高層化になるのではないかと聞いていたもので、京都の御池中学校に見学に行ってきました。見るのと聞くのではだいぶ違って、いろんところでヒントがありました。ましてや今、屋上を校庭化している学校もいくつかありますし、そういうところを実際に委員の方たちに見ていただいて、これからの学びがどういうものなのかということを中心に考えた上で論じていかないと、3分の2位は概念で話しているような気がします。もちろん地上で広いところがあれば一番良いですが、限りがあるところでやるわけですし、杉並区の財産となった時に一方だけで語って良いかなというところも考えると、もしよろしければ屋上校庭の学校を見学に行くようなスケジュールを取っていただいて、やはり見なくては何も語れないと思います。1階の場所も、武蔵野市の武蔵野プレイスに行ってみると、図書館の1階にコーヒースタイルの場所があったり図書館の概念も変わってきているので、見ずして固定概念だけでなく少し考えて話した方が良いのかな、ということ前回から考え直してみました。</p>
委員	<p>先ほど委員からお話が出ましたが、東日本大震災の時は小学校の北側の道路も東側の道路も人であふれて、西友のパーマ屋さんからはカーラを巻いた人が逃げてくるほどでした。地震が収まってからも、児童は一步も外に出せないような状態だったので、そこを何より優先して児童を通してもらうといったことは絶対無理だと思うので、それでしたらシェルターとまではいかなくとも、体育館の中に児童と教職員の先生方と皆さんが確実に避難できるだけの強度を持たせたほうが将来的にも活かせるのではないかと思います。必ずしも外に児童を一時避難させなければいけないのかということを見ると、いろいろなリスクを考えた時にもそのほうが良いのではないかと思います。</p> <p>建物全体をどの位の耐震でお考えになっているのかよく分かりませんが、東日本大震災の時に築何十年の校舎がほとんど何ともなかったようですから、それをわざわざ全体を校庭に必ず逃がさなくてはいけないというルールもあり方も、火事の場合は違うと思いますが、地震を含めたいろいろな災害の場合、またテロ等の場合も外には出せませんから、そういう場合は体育館のほうがよほどみな皆さんの安全を守れるのではないかと思います。</p>
委員	<p>両案いろいろメリットとデメリットがありますが、皆さんいろいろ感じているように防災の話が出てきています。我々も防災訓練をやっていますから、やはり屋上校庭だと集まるのがどうなのかなと思います。</p> <p>地上校庭案の場合は、ホールが8階というのが引っ掛かります。杉並第一小学校の敷地に区民施設が複合化になるということで、先ほど委員が将来のこと</p>

	<p>を考えると言われましたが、我々の時代ではなく今の小学生たちのことを考えて造っていただきたいと思いますが、もう少し検討したいと思います。</p>
委員	<p>前回の主な意見の「資料1」の校庭の配置についての下から2つ目に、「校庭を広くとるためのC案があるが、校庭の機能は運動だけではなく、緊急時に子どもたちが一旦避難する場であり、人数を掌握する場所でもある。火災発生時など、子どもたちが集まって人員点呼する場所がなくなってしまうことが課題である。」と書かれており、私も同じことを感じました。</p> <p>町会では杉並第一小学校と一緒に避難訓練を行います。30年先、50年先もちろん大事だとは私も思いますが、今のニュースを見ても、中国の土砂崩れのビル倒壊やテロ等もあり、日本が四面を海に囲まれた島国であると同時に地震や火山もいつ起こるか分からず、明日何が起こっても良いことに対応するということははずせないと考え、地上に校庭を置くべきだと考えます。30年先、50年先にも建物がしっかりしているなら、また校庭を屋上にもっていてもいい気がします。</p>
委員	<p>両案とも捨てがたいというのがありますが、私は基本として安全・安心を第一に考えています。その中で、安心して避難できる場所というのは多ければ多いほど良い、その場合に屋上校庭案では近隣の空地があるということですが、それよりもやはりこの場所に逃げられる、出られる場所がある、ということがまず安心・安全を守る第一になるのではないかなと思います。</p> <p>また、震災訓練の時に、今は道路が狭く起震車が入れないですが、校庭が4階の屋上になるともっと入れなくなるのではと思います。そういう体験ができる場を作れないのではないかと思います。</p>
委員	<p>今日は、屋上校庭が良いのではないかとという人も出ましたが、私はもしかしたら屋上校庭が一番良いのではないかと思います。たとえば震災の時、私たちによく分かりませんがそういう案があればもしかしたら屋上が一番安全だというようなこともあると思います。</p> <p>それから、校門はどこにつくったら一番良いでしょうか。</p>
学校整備担当部長	<p>校門に関しては、いろいろありますが今は北側か中杉通りの角が最適かと思えます。</p>
委員	<p>昔は反対側にあったので、私たちは反対側のほうが良いのかと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>歩道状空地もできて歩道も確保されますので、児童の通学路としてどれが良いのかということと、学校の顔をどのようにつくるかという視点がありますので、もう少し検討が必要だと考えます。</p>
委員	<p>屋上校庭案にいろいろメリットがあるということ言われて驚いています。何をどう比較しても一番の重点は何だということを絞らないと、项目的に羅列してこれはこっちが良いということではだめだと思います。やはり私は地上校庭案に強く賛成したいと思います。例えば近隣の空地に避難するとしても、道路を横断するということは車がパニックになった時を考えると怖いです。それから、東日本大震災の時は隣の寺院の山門の瓦が全部落ちました。幸い人が通っていなかったのが人がはでませんでした。歩道の前に瓦が散乱しました。</p>

	<p>そういうことを考えると、首都直下型地震や南海トラフ地震とさかんに言われている時にこれを建てるということになれば、やはり地上に避難場所を安全に設けるということが最優先ではないかなということはどうしても拭いきれません。</p>
委員	<p>一長一短あってなかなか判断が難しいところですが、やはり防災の観点から、災害は必ずきます。そうなると建物自体の機能は止まり、おそらく電気もダウンします。そうなるとエレベーターも動かない。そうなると屋上に校庭を置くということは格好は良いが現実的に考えると危ないなという感じがしますので、地上に置いて欲しいと思います。</p> <p>また、地域区民センター協議会をやっているので気になるのですが、イベントをやると大半はご老人です。そうなると、縦の動線に非常に関心があります。なので、エレベーターを何台置いて、児童と利用者は別にするのか、また8階まで直通で行くのか、等はまだ固まっていないかもしれませんが、次回以降教えていただきたいと思います。</p>
委員	<p>私が杉並第一小学校に通っていた時は、学校の校舎がコの字になっていました。そんなに広くない校庭で6年間運動会をやりましたが、その時に比べれば地上校庭でも広いと思います。震災ということを考えた時に、自分が商売していた場所が7階建のビルだったので、そこにいた時に東日本大震災にあいました。ほとんどの方が中杉通りに降りて来ました。児童も勉強できなくなると思います。あの揺れが一回限りじゃなく、15分、20分ごとにまた揺れるわけです。仕事をしている人たちは、今日はここで終わりとなりますし、電気も切れます。車はだいたいストップします。中杉通りの車はほとんど止まっていたので、車の心配はないと思います。なので、杉並第一小学校の児童はスムーズに近隣の空地に避難できると思います。</p> <p>私は、安全第一で校庭は地上の方が良いかなと思います。ただ、地上にしますと当然、中杉通りのにぎわいは演出しにくいと思いますが、そこは知恵でにぎわいが出るような照明計画や街並みを表現していただきたいと思います。</p>
委員	<p>皆様のご意見を聞かせていただいて、大変参考になりました。やはりポイントは震災の時にどう対応するかということだと私も思います。いかに避難するかということ考えた時に、先ほどの委員のように体育館をしっかりとするという意見も考えられると思いますし、いろいろな車が校庭に入れるという今の地上校庭の利点もあると思います。私が今思っていることは、高層ビルになった時に、動線がかなり高くなり、避難する階段はいくつあるだろうかと考えます。いかに早く1階に降りられるかということ考えた場合に、避難できる広いスペースがあったほうが良いのか、早く避難できたほうが良いのかということを考えております。いずれにしても、他の学校等を見せていただけたら、非常に参考になるかなと思いました。</p>

進行役	<p>学校としては、そういう状況の中で避難の仕方を考えていくということだと重います。</p> <p>一通りご意見をいただきましたが、言い足りなかったことや他の委員の意見を踏まえて、発言したいなどがございましたら、お伺いしたいと思います、いかがでしょうか。</p> <p>(委員から追加の意見は特になし)</p> <p>そうしましたら、学識経験者の委員からお願い致します。</p>
委員	<p>この懇談会は杉並第一小学校を複合化するという集まりで皆さんで議論を進めているわけです。今日は防災がテーマとなったわけですが、何度か前に申し上げた通り、私の観点は小学校であっても地域社会の中での重要なインフラであるということです。それは今までいろいろ勉強させていただきましたが、少なくとも子どもたちの教育上のインフラです。これはとても重要な施設であるということです。そして、地域の防災上の拠点でありインフラであるということも確かなことです。</p> <p>いろいろお話を伺う中で、防災の話が結構出ました。私も都市計画の一分野として専門的にやっておりますので、外に逃げるという発想で皆さん考えられていますが、実は今度造る建物というのは、東日本大震災の経験を踏まえて震度9以上の地震にも耐えられるということが設計条件になると思います。そうすると、外に出るよりむしろ中にいた方が安全ということがあります。もちろん外に出た方が安全なこともあります、そこは状況に応じてとなります。今、造られている建物は地震の揺れということに関しては、免震構造であったりクロスをいれたりということで非常に地震に対しての知恵が進んでいます。今の小学校であれば、耐震補強はやられたとしても震度9が起きた時にはたしてもつだろうかと思えます。しかし、今後造られるものはおそらく震度9に対しても十分耐えられるものを造らざるをえないと思えます。そういう建物だということを認識した場合に、今日はどちらの案とは決め難いですが、外に出ることが善なのか、しっかりした建物の中で児童を守り、周辺の人もちょうんと逃げ込めるといったソフトな政策も用意しているというような施設がこの学校に求められるのではないかという気がしました。</p> <p>案の優劣の話ですが、私はまだ両論併記で良いのではないかと思います。特に複合化という点からして、まちの特に中杉通りのにぎわいとの関係をうまく引き出しているのは屋上校庭案のほうが中杉通りとの関係ではうまくいっていると思えます。地上校庭案のほうは、中杉通りの関係から見ると、先ほどの私の質問とも関係しますが、体育館を地下から1階にありますが、これが8階にあるホールと入れ替えられた時にはどうなのだろうかということを考えます。そうすると、低層部のところにホールがきて、中杉通りのにぎわいは出やすい可能性もありますので、ここはもう少し検討したほうが良いのではないかなと思いました。なので、防災も重要ですが、この懇談会のテーマはやはり複合化ということ、何を複合して新しい小学校にしていくのかという観点を忘れないで議論を進めたほうが良いと思えます。</p>

進行役	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の各委員からの意見を受けて、配置計画（案）をまとめていくにあたり、事務局から今後の進め方について、お考えをお聞かせいただければと思います。</p>
学校整備担当部長	<p>本日は貴重なご意見をありがとうございました。総論すると、防災面の安全・安心をどう保つか、児童の安全と区民の安全をどう守るかという施設づくりを考えることだと思います。今日、一案に絞り込まなくても良いと私も思います。先ほど、見学に行きたいというご意見もありましたので、探してみます。今、分かっているのは、他の区では先ほど委員からもありましたが、外に出ないで建物の中に避難して安全を確保しようという学校もあります。それから、隣接する公園に避難し、また校舎に戻るとい学校もあります。それから屋上に逃げるとい学校もあります。都心部の学校でそういうことをきちっとやっている行政がありますので、見学会を予定しますので、今日のご質問・ご意見を他の区はどうしているのかということ、屋上校庭はどうなっているのかということをご意見をいただければと思います。</p>
進行役	<p>それでは、次に移ります。「4. 杉並第一小学校等複合施設整備に係る検討経過（中間のまとめ）について」、事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>（「資料4」の構成を説明）</p> <p>この中間のまとめを基に、1月下旬に杉並第一小学校の保護者の皆さま、地域住民や施設利用者の方を対象とした説明会を開催する予定です。</p>
進行役	<p>ただいまの事務局からの説明に、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。</p> <p>（委員から質問・意見は特になし）</p> <p>それでは、次第の最後となりますが、事務局からの連絡事項についてお願いいたします。</p>
教育施設計画推進担当係長	<p>本日もたくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>本日のご意見も踏まえて、次回懇談会は、他区の屋上校庭や複合施設を設置している学校の視察を組みたいと思います。先方のご都合もありますので、日程調整を行い、各委員にご連絡をさせていただきたいと思います。3月までに基本計画・基本構想を作らないといけない中で、見ていただいて、話を聞いていただければと思います。</p> <p>また、前回の会議録の作成が、本日の懇談会までに間に合っておりませんが、出来次第、会議録を送付させていただきますので、内容のご確認をお願いできればと思います。以上となります。</p>
進行役	<p>それでは、これで第5回懇談会を終了いたします。皆様、本日はありがとうございました。</p>